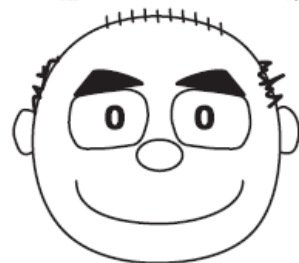


すくすく



NO.35 平成21年4月1日発行

感じることを知ること

院長 金原洋治

私たちは、いくら本を読んで本質が理解できなかつたことが、体験や経験を通して、五感で感じ本質がすっとわかるとわかる経験をすることがよくあります。逆に、本を読んだり講演を聞いたりして「知ること」で、感じ方がそれまでと違ってくることもあります。それでは、「感じる」と「知ること」のどちらが大切なのでしょうか？

感じることを知ること・人は五感を通して世界を理解している！

私たちは、周囲の世界をどのようにして理解するのでしょうか？目、耳、鼻、舌、皮膚などのセンサー（五感）を通して感じ、神経細胞が脳の各分野の中枢に伝え周囲の世界を理解しています。センサーの機能自体も一人ひとり違いますので、感じ方も違ってきます。例えば、料理や香水の好み、好きな肌触り、好きな色、ファッションセンス、好きな音楽などです。全く同じ感じ方の人ばかりでは面白くないし、「タデ食う虫も好きずき」という諺のように、好きなものや感じ方が、人それぞれ違うからこそ世の中は面白いしうまく行きます。多くの人が心地よいと感じる音や味などもありますが、芸術家は、皆と感じ方が違ってないと独創的な作品は残せないのでしょう。生きている時は、その一風変わった作品や人物像が受け入れら

れないままに人生を終え、死後何十年もたってから評価されるようになった有名な芸術家も多いようです。

五感の成熟と調節

同じ人でも、子どもの頃と大人になつてからでは、好きな食べ物が違つてくるように感じ方も違つてきます。センサーの機能は年齢と共に成熟してきますし、経験やトレーニングによつても変化してくるようです。また、心や体の調子によつて感じ方が違います。普段は気にならないう音でも、疲れている時にはうるさく感じる時もあります。私たちの体のセンサーは、精妙に調節されていますので、ストレスをため込まないようにしましょう。

感覚が過敏すぎる人のことを知る

誰でも、生理的に受け付けない味、匂い、音があります。それを、無理に食べることを強制されたり、慣れるようにと匂いや音を強制されるとつらいものです。特に、自閉症の人は、感覚が過敏な人の割合が高く過敏さの程度が激しい人が多いと言われ、他の人は気にならない音でも耳を塞いだり、触られただけでも叩かれたと感じたり、偏食がひどい人が多いようです。感覚が過敏な人がいるということを知ることによって、彼らの行動が理解できるようになり、接し方を変えることによつて、お互いが気持ちよく生活できるようになります。

感じることを知ること・ともに大切！！
感性を磨くことも大切だし知ることでも大切です。学ぶことは、多くの先人が長年の経験から得たことを短時間で知ることが出来ます。多様な感じ方があることを知り、自分の考えや感じ方に固執せず、色々なことに関心や興味をもち、柔軟な心を持つことが大切のようですね。

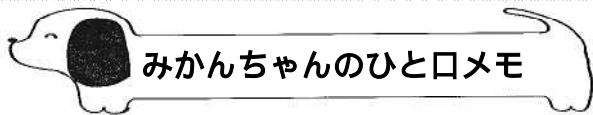
第六感を大切に

この原稿を書いていたら、妻に「母親は第六感で子育てをするのよ。」と言われました。たしかに、そうですね。第六感にピンとくるという感じでしょうか。この第六感、子育てにとっても大切だと思います。

子どもが熱があるかもしれないと思つたら額や体に手を当て、うんちやおしっこの色や臭い、泣き方の違いや、なんとなく元気がないなど、多くのお母さんが日々五感のセンサーを通して子ども達のことを理解し、経験を積み重ねることによつてセンサーを鍛えながら子育てをしておられます。センサーを鍛えることによつて六感が働きやすくなるのでしょうかね。

院長不在のお知らせ

5月30日(土) 学会の為不在
6月13日(土) 学会の為不在
休日当番医のお知らせ
5月17日(日) 9時～18時



みかんちゃんのひと口メモ

ごっこ遊びとコミュニケーション

私たちは日頃生活する中で、多くの人と関わりながら、その関係に合ったコミュニケーションをとっています。では、こうしたコミュニケーション力はどのように育っていくのでしょうか。

それはまず幼児期に始まります。この時期の子どもたちが大好きな遊びとして「ごっこ遊び」があります。「ごっこ遊び」は、代表的なものに『おままごと』があり（おままごと＝女の子の遊びではありません。男の子も大好きな遊びですよ）お母さんが普段してくれることを身近な物を使って見立てて遊びます。そして段々1人でする見立て遊びから、お友達と『おままごと』遊びというように遊びを展開していきます。

「お店屋さんごっこしよう!」「うん。じゃあ、私はお店の人」「これがいちごで、りんごで・・・」「ここから～にしよう」などなど、役割分担にはじまり、場や状況の設定を作るというイメージの共有が生まれます。こうしたやりとりを通じて子どもたちは、自分の体験を相手に言葉で伝え合い、想像力を働かせ、友達と共通のイメージを作り上げていくことを経験していきます。この繰り返しの中で、言葉というものをしっかり聴くようになり、伝える力も育っていきます。これがコミュニケーション力を作っていく源になります。

大切なのは、伝えたいという気持ちを育てること、そして自分以外の人と同じ体験を楽しむことだと思います。お子さんの遊びに目を向けてみると、こうした成長の芽がたくさんあることと思います。

臨床心理士 坂本佳代子

*みかんちゃんは金原家のミニチュアダックスフンドです。ときどき院長と一緒に出勤しています

麻疹・風疹混合（MR）接種のお知らせ

平成20年4月から中学1年生と高校3年生も定期接種するようになりました。（無料）

全国的に、麻疹の流行は続いています。対象年齢のお子さんは、早めに接種を受けましょう。

定期接種期間以外の方は有料となります。

予約は不要です。母子手帳をお持ち下さい。

期	満1歳～2歳未満
期	小学校入学前1年間 (年長さんの4/1～3/31)
期	中学1年生の1年間 (4/1～3/31)
期	高校3年生の1年間 (4/1～3/31)



ポリオの予約が始まります

5月よりポリオの接種が始まります。予約制ですので、受付にてお申し込み下さい。お電話でも受け付けています。

予約開始 4月1日(水)

接種期間 5月8日(金)～6月中旬 月火水金

時間 14時～14時30分

定員 各日とも17名

接種前後30分間は飲食が出来ませんのでご注意ください。



おすすめの絵本

『とんことり』

筒井 頼子 作

林 明子 絵

福音館書店

とん
ことり



山の見える町に引っ越して

きた「かなえ」。引っ越し

してきた日、まだ誰もお友達のいない「かなえ」のもとに、すみれの花束が届きます。一体誰が？

新入学・クラス替えなど、環境が変わる今の季節。「どんな素敵なお友だちができるかな～？」

とお子さんと一緒に読んでみてはいかがでしょうか？

夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場所 下関市大学町2丁目(市大近く)

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2 28 20

083 252 2112

HPURL <http://members.jcom.ne.jp/28149681/>

栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時～16時

4月15日(水) 5月26日(火)

4月28日(火) 6月10日(水)

5月13日(水) 6月17日(水)

5月20日(水) 6月23日(火)

編集後記

皆さんはお子さんの『おもしろ語録』がありますか？小さい時だからこそその言い違いや、とっさの一言。怒っていても、その一言でプツと笑えてしまいますよね。そんな楽しいエピソードを、ぜひ成長したお子さんに話してあげて下さい。ちょっぴり恥ずかしいけどきっとうれしい思い出のひとつになりますよ！

モモ、クリさんねん